

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2019  
07  
2019年6月 第214号

NPO The Cornerstone Orphanage  
礎の石孤児院



みんなで展示会に行ってきました!(カンボジア孤児院)

皆さまの尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

先月25日に、東京の五反田で第18回目になります、私共の法人の総会が行われ、皆さまのおかげをもちまして、すべての議案が無事承認されましたことを御報告させていただきます。

月日と共に、幼少だった子ども達も皆大きくなり、社会人として立派に巣立たせることも、これからの私共孤児院の一つの大きな使命となってきています。しかし、ザンビアのストリートチルドレンを例にあげれば、これは、いわば社会問題であり、本来は国が対応していなければならないところではありますが、国にその力が無いのが現状です。出来る限りの助けをしていますが、その人数の多さから、費用も多額になります。その中で、ザンビアでは、養鶏を営んでいた慈善団体から、事業の引き継ぎを依頼され、とりあえず、様子をみながら養鶏を始めることになりました。しっかり起動にのれば、孤児院や子ども達にとって大きな助けになることと思います。しかし、それでも十分とはいえません。さらに、ザンビアだけでなく、カンボジアやフィリピンの孤児院でも、働きのための費用がさらに必要となってきており、毎月の運営費の送金もギリギリといった状態です。

皆さまの御支援には只々感謝ではありますが、今後とも、御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

政府発表の計画停電は、雨季に入って雨の日が多くなって来たからでしょうか、毎日のように5時間も続いていた停電は1時間ほどになり、そして現在はほとんどなくなっています。カンボジアの雨は、短い時間に物凄い豪雨になることが多く、その度に孤児院の庭の水はけがスムーズにいかない時など、男の子達が率先して動いてくれるので大変助かっています。

先日は、床のタイルが突然盛り上がり来て、修理の必要がありましたが、男性スタッフと男の子達で綺麗に元通りに直してくれました。かなりの年数使って来たテレビが故障するようになり、こちらの方も何度も男の子達が修理してくれるので、大変助かっていましたが、遂に壊れてしまいました。あまり娯楽のない子ども達の楽しみの1つでしたので、新しいテレビの購入が出来ればと願っています。

この為の、皆様のご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。



タイル修理を手伝う男の子達

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン子どもたちに対する皆様の温かいご支援ご協力を心から感謝致します。

2019年度の授業が6月3日から始まりました。皆様のご支援により、学校の制服や靴、学用品の一部を購入することが出来ました。フィリピンでは、学年を通して授業に必要な物(色鉛筆や絵の具、テスト用の紙に至るまで)は、学年の初めに学校に預け、各担任が管理するというシステムになっています。ノート等も細かい指定があり、学校から渡されるリストに従って買い揃えなければなりません。

6月14日には新入生、在校生ともに、保護者を含めたオリエンテーションがあります。

皆様のご支援によって、子どもたちの将来が大きく変えられています。

今年度も就学支援生49名(小学生28名、中学生11名、高校生10名)が学校に行き続けるために、さらに2,736ドル(約30万円7千円)の必要があります。引き続き皆様のご支援を、どうかよろしくお願いいたします。



皆様のご支援により学用品を購入することが出来ました

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。ザンビア、毎日かじかむ程冷え込んでいて、みんな十分な防寒着が無いので、凍えながら生活しています。そんな中でも良いニュースが。元ストリートの男の子で、料理を習った子が、日本人女性が経営するレストランで雇って頂く事ができました。とはいえ、6か月の試用期間なので、本人の努力が相当求められますが、ようやく夢への第一歩を踏み出せたと、喜んでます。他にも3人、就職が決まり、昨日旅立ちました。ひとりはストリートのボス。ひとりはかつて刑務所にいた子、もうひとりは、職業訓練を終了した後、仕事が見つからず絶望して橋から飛び降りたものの、奇跡的に無キズだった子です。ゆっくりと、ゆっくりとですが、私たちの働きの実が現されている事が、喜びとなっています。また、スラムに住む孤児の奨学を支援する事業も始まりました。特にHIVに感染している孤児を重点的にサポートしていきます。絶望と困難な中にいる子どもたちをひとりでも救い出していくために、どうかさらなるご支援をご支援を宜しくお願い致します。



日本食レストランのオーナーの方と共に

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。ブラジルでは冬に入りましたが、ここアラサトゥーバでは暖かいか暑いくらいの気候で、今が一番過ごしやすい時期です。今のところは湿度が最低でも50%ほどありますが、これから乾燥する時期に入るので、私の周りの人々はお互いに注意喚起しています。今の住まいで4カ月が経ち、だいぶここでの生活に慣れ、集合住宅の全員とお話しました。先日は住人の1人がバスターミナルで私を見かけて、話しかけてくださいました。バスターミナルが入っている建物に市役所が入っていて、そこに勤務されているとのことでした。心強いです。体調が回復して来たので、今週はグアララパスの礎の石孤児院の土地に行って来ました。市内にお住まいのTさんのお宅に泊めていただき、車を出していただいてやっと行って来ました。ご協力に感謝致します。お隣の牧場オーナーが一部土地を売り出されたとのお話も聞きました。孤児院の建物の必要があるので、引き続き皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。



礎の石孤児院の土地にて、松本スタッフ